

ロシア

経済概況

ロシア経済は、依然として厳しい状況にある。上半期の実質GDPは、対前年同期比10.4%減（暫定推計値）であった。また、固定資本投資、鉱工業生産や小売売上高なども減少している。ただし、経済発展貿易省は、独自に行っている推計に基づき、6月及び7月は2か月連続で実質GDP（季節調整済み）が対前月比プラス成長したとの評価を行っている。これに従えば、ロシア経済は下げ止まりの段階にあると言うこともできそうである。

貿易の状況を見てみると、上半期の輸出総額は1,246億ドル（前年同期比46.9%減）、輸入総額は717億ドル（前年同期比42.6%減）という低い水準にある。ただし、月次の動向をみると、徐々に回復している。主要な輸出品目である原油の輸出量は対前年比0.2%増であり、原油価格の回復傾向と併せて考えると、ロシア経済には明るい材料であるといえる。輸入面では、設備投資の減少を反映して、機械設備輸送機器類の輸入は53.7%の大幅な減少となった。

2010年予算原案

ロシア連邦財務省は2010年から3年間の予算の基本方針を公表した（以下、「2010年予算原案」という。）

09年予算は策定時点では、経済危機の要素を織り込んでいなかったため、09年4月に大幅な変更を加えた補正予算が組まれた。歳入を大幅に引き下げるとともに、歳出を増額したため、3.0兆ルーブル（補正予算策定時における09年の名目GDP推計値比7.4%）という赤字予算となっている。

2010年予算原案においても、歳入6.6兆ルーブルに対して、歳出9.8兆ルーブルを計上しており、赤字幅は2009年補正予算をやや上回る3.2兆ルーブル（2010年予算原案策定時における10年の名目GDP予測値比7.5%）とされている。さらに、赤字幅は縮小するものの、11年、12年とも赤字予算を続ける案となっている。

2010年予算原案策定の前提とした経済成長率は、09年がマイナス8.5%と推計されており、その後の2年間は1、2%程度のプラス成長と予測している。その他の主な経済指標に関する09年～11年の間の予測値をみると、原油（ウラル）の価格は54～56ドル/バレルとなっており、09年8月の水準（約70ドル/バレル）からみて、控え目な予測であるといえる。これは、おおよそ05年下半期から07年上半期ころの水準である。また、輸出額の予測は2,740～2,820億ドルとなっており06年をやや下回る水準、輸入額は1,900～2,050億ドルと07年とほぼ同じレベルであると予測されている。

以上をまとめると、2010年予算原案においては、次のようなシナリオを想定しているといえよう。すなわち、「この先2年間、ロシア経済を支える最大の柱である原油などの資源輸出は、06年とほぼ同じ水準でありながら、自律的な経済成長の力は弱く、財政出動による経済の下支えによりプラス成長を確保する」というものである。筆者としては、06年の成長率が7.7%であったことと比べて、かなり悲観的なシナリオであるように感じられる。確かに06年時点より輸入額が大きくなってしまっているために、輸出による経済成長への寄与が相殺されて小さくなるという面はある。とはいえ、政府の立場であり明るい未来を描いてしまうと外れた時の政治的リスクが大きいため、あえて悲観的な予測をしているのではないかという印象を受ける。

なお、財政赤字の補てんのために「予備基金」、「国民福祉基金」を取り崩す計画であり、予備基金は09年初時点での残高が4兆ルーブルであったものが10年末までに底をつき、国民福祉基金は09年初の2.6兆ルーブルが12年末には0.9兆ルーブルへと減少する。もし、このままの傾向が続けば、14年にも基金が底をつくことになってしまう。ただし、現時点でそこまで見通すのは困難である。少なくとも今後3年間は基金を利用して景気刺激型の積極財政を展開できるだけの財政余力があるということを評価すべきであろう。

（ERINA調査研究部部長代理 新井洋史）

| | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | (前年同期比%) | |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----------|--------|
| | | | | | | | | | | 2009 | |
| | | | | | | | | | | 1Q | 上半期** |
| 実質GDP | 10.0 | 5.1 | 4.7 | 7.3 | 7.2 | 6.4 | 7.7 | 8.1 | 5.6 | ▲ 9.8 | ▲ 10.4 |
| 固定資本投資 | 17.4 | 10.0 | 2.8 | 12.5 | 13.7 | 10.9 | 16.7 | 21.1 | 9.8 | ▲ 15.6 | ▲ 18.8 |
| 鉱工業生産高 | 8.7 | 2.9 | 3.1 | 8.9 | 8.0 | 5.1 | 6.3 | 6.3 | 2.1 | ▲ 14.3 | ▲ 14.8 |
| 小売売上高 | 9.0 | 11.0 | 9.3 | 8.8 | 13.3 | 12.8 | 14.1 | 16.1 | 13.5 | ▲ 0.1 | ▲ 3.0 |
| 実質可処分所得 | 12.0 | 8.7 | 11.1 | 15.0 | 10.4 | 12.4 | 13.5 | 12.1 | 2.9 | ▲ 0.2 | 0.0 |
| 消費者物価* | 20.2 | 18.6 | 15.1 | 12.0 | 11.7 | 10.9 | 9.0 | 11.9 | 13.3 | 5.4 | 7.4 |
| 工業生産者物価* | 31.9 | 8.3 | 17.7 | 12.5 | 28.8 | 13.4 | 10.4 | 25.1 | ▲ 7.0 | 4.4 | 10.0 |

*前年12月比。

**斜体は暫定推計値

出所：『ロシアの社会経済情勢（2009年6月号）』、『同（7月号）』ほか、ロシア連邦国家統計庁発行統計資料